

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 八幡福祉協会

全体事項

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、様々な制限をせざるを得ず入居者の皆様、ご家族様にご迷惑をお掛けする状況が続きました。

高齢者施設においては優先的なワクチン接種が進められておりましたが、近隣の施設等でもクラスターが発生し、介護従事者が就労できない事態が起こっているなどの情報を受け、当法人職員も常に緊張感を持ち、感染予防策を徹底しながらサービスの提供に努めました。また、昨年、感染予防の観点から実施を見送った次世代の人材育成研修につきましては、感染状況を注視しながら実施し、無事に全工程を終了することができました。

入居者・利用者の皆様から笑顔が溢れ、利用してよかったと実感していただける介護サービスの提供、また、職員一人ひとりが当法人で働いてよかったと思える環境整備を行い、地域の皆様に必要とされる社会福祉法人となれるよう努力して参ります。

共通事項

1、人材育成・人材確保の取り組み

人材育成研修として、外部講師に依頼し、次世代の指導的役割を担う職員を育成するため、各職員の役割を明確にしていくこと、また、トップダウン型からボトムアップ型の組織を作るための考え方や指導的職員の果たすべき役割等についての研修を行ないました。次年度は、研修で学んだことを形にしていくために、定期的に会議等を開催することで、時代と共に変化していく高齢者福祉サービスに対応し、また、安定した法人運営を継続していくための人材育成に取り組んで参ります。

2、設備関係の大規模修繕事業

新型コロナウイルス感染症の状況を注視しながら行った本館共用部分の空調改修工事は、予定通り6月に完了しました。全ての空調がGHPから電気空調へ切り替わったことで水道光熱費の削減につながりました。

設備関係では、今年度も介護における身体的負担の軽減や業務の効率化、また、介護従事者が継続して就労するための環境整備を目的に介護見守りロボット・インカム・介護ソフト・タブレット端末等について京都府介護ロボット等導入支援事業補助金を申請し交付決定を受けました。交付決定を受けた機器の一部については半導体不足や新型コロナウイルス感染症等の影響で次年度の納品となりましたが、導入済みの機器については、現場で有効活用していくために法人内で検討チームを立ち上げ、各事業所の課題等を検討し、サービスの質の向上、並びに、職員の負担軽減につながるよう継続して取り組んでいきます。

3、技能実習生の受け入れ

昨年春より予定していたベトナム人技能実習生の受け入れは、日本・ベトナム両国の新型コロナウイルス感染拡大に伴い、入国が難しい状況が続いておりましたが、3月から入国規制が緩和されることを受け、手続きを進めておりました。しかし、予定しておりました実習生2名の内1名から辞退の申し出を受け、1名のみ入国させるかどうか役員会で検討した結果、日本で一人暮らしをすることに対する実習生の精神面や生活面でのフォロー体制の確保、また、本人や法人の経費等を考え、受け入れを見送ることとしました。

人材確保の観点から技能実習生の受け入れは必要不可欠であることから、今後も事業協同組合と連携を図り、ベトナム以外からの受け入れも視野に入れ、検討して参ります。

4 役員会等の状況

① 評議員選任・解任委員会

開催年月日	出席者数	審議内容
令和3年6月24日	3名	① 次期評議員の選任（案）について

② 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
令和3年6月24日	7名 (監事2名)	① 令和2年度事業報告（案）について ② 令和2年度収支決算（案）について ③ 理事及び監事の選任について

③ 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
令和3年5月24日	7名 (監事2名)	① 令和2年度事業報告（案）について ② 令和2年度収支決算（案）について ③ 令和3年度の昇給率及び賞与支給月等（案）について ④ 次期役員候補者の選任について
令和3年6月24日	6名 (監事2名)	① 理事長及び業務執行理事の選任について
令和3年11月24日	6名 (監事2名)	① 令和3年度 中間報告
令和4年3月17日	6名 (監事2名)	① 令和3年度収支予算補正（案）について ② 令和3年度事業計画（案）について ③ 給与退職金規程の一部改正（案）について ④ 令和4年度収支予算（案）について ⑤ 就業規則の一部改正（案）について ⑥ 育児休業及び育児短時間勤務に関する規則の全改正（案）について ⑦ 介護休業等に関する規則の全改正（案）について

④ 監事監査の実施状況

令和3年5月17日に、監事2名による監査を実施していただきました。
その結果、事業報告は、関連する法令及び通知に従い、当法人の事業の執行状況を正しく示し、適切に処理されていると認めていただきました。

5 その他の状況

① 衛生教育について（産業医講話）

年 月 日	参加人数	内容
令和3年9月15日	22名	健康診断結果の見方・禁煙について
令和4年3月16日	19名	頭痛について

② 職員健康診断等

年 月 日	検診内容	受診者数
令和3年5月19日～5月21日	新型コロナワクチン接種1回目	65名
令和3年6月9日～6月11日	新型コロナワクチン接種2回目	65名
令和3年9月24日	職員健康診断（腰痛検診含む） ※当日未受診者は、医療機関にて実施	46名
令和3年11月15日～11月22日	職員インフルエンザ予防接種	62名
令和4年2月7日～3月12日	新型コロナワクチン接種3回目	61名
令和4年3月9日～3月11日	職員健康診断（夜勤業務実施者）	29名
令和4年3月9日	腰痛検診	19名

③ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
令和3年10月19日	14:30～	昼間訓練（消防署立会い）
令和4年3月22日	14:30～	夜間想定訓練（自主訓練）

各事業所の事業報告

施設サービス事業所

特別養護老人ホーム

前年度から続く新型コロナウイルスの感染拡大を受け、感染防止対策の徹底に努めました。

毎朝、入居者並びに出勤職員の検温を実施した他、職員はマスク着用を徹底し、濃厚接触を避けるため入居者の介助はなるべく15分以内に終わるようにし、換気や消毒、テーブル席の亚克力板設置などの感染防止に取り組みました。また、入居者と職員にはできる限りワクチンを接種していただけるよう努めるとともに、発熱や体調不良があった場合や、職員の家族が陽性者や濃厚接触者となった際は、抗原検査を行い、感染を未然に防げるよう対策しました。

ご家族の面会については、感染状況に応じてオンライン方式、短時間の亚克力板越しでの対面方式で実施しましたが、2月5日から3月27日にかけては状況の悪化を受け、やむを得ず中止しました。

介護現場では入居者の自立した生活をサポートすると共に介護職員の負担軽減をするためICT（情報通信技術）の活用に取り組みました。導入しました介護見守りロボット、インカム、介護ソフト、端末用介護ソフト等の機器は連動しております。介護見守りロボットのセンサーが反応した際に、職員が携帯しているインカムへ知らせることで、入居者の身体状況に変化があった場合に 迅

速に対応することができた他、センサー反応時は自動的に介護ソフトに状況が記録されます。また、サービス提供時に紙でメモを取り、後から介護ソフトへ転記する必要があった介護記録についても、各現場で端末用介護ソフトに直接入力することで転記作業等が省略でき、職員の負担軽減につながりました。

施設や地域での行事は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、制限が続きましたが、外出やご家族との面会が制限される中で、入居者が少しでも気分転換出来るように、施設の中で楽しんでいただける企画を検討し、入居者が楽しみながら継続できる歩こう会(歩行訓練)や簡単なクイズを取り入れた頭の体操などを日課として行いました。

さらに、介護職と看護職の役職員を中心に毎日行ったミーティングで、入居者の状況・業務の改善・翌日の予定等を確認し、適切な介護サービスを提供できるよう努めました。特に介護職員と看護職員の連携を密にして、感染症の防止や早期受診の検討・情報共有を行い、入居者の健康を保持し利用率の安定を図りました。しかしながら、今年度は入所先の施設や病院で新型コロナウイルス感染症の影響で入居が延期になったり、新規申込者の面接を制限されていたりと新規入居者の獲得は困難を極めました。この為、利用率が安定しませんでした。施設内での新型コロナウイルス感染症の発生を防ぎ、入居者と職員の健康で安全な暮らしを守れたことは、介護職員の自信につながりました。

特養入居者等の状況

① 退所状況

年 月 日(現在)	死亡	解約の申出	合 計
令和3年3月31日	14人	1人	15人
令和4年3月31日	20人	2人	22人

② 要介護度の状況

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要介護度
	1	2	3	4	5	
令和3年3月31日	1人	0人	29人	24人	15人	3.75
令和4年3月31日	1人	0人	18人	28人	18人	3.98

③ 利用実績

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
令和2年度	24,890人	68.2人	利用率97.4%
令和3年度	23,735人	65.0人	利用率92.9%

④ 入居者検診状況

年 月 日	検診内容	受診者数
令和3年5月19日～ 令和3年5月20日	新型コロナウイルスワクチン接種 1回目 ※接種希望者のみ	56名
令和3年6月10日	新型コロナウイルスワクチン接種 2回目 ※接種希望者のみ	54名
令和3年10月5日	胸部レントゲン撮影 ※撮影時在館65名	61名
令和3年11月29日～ 令和3年12月6日	入居者インフルエンザ予防接種 ※入院中の入居者については、入院先の 病院で接種されています。	60名
令和4年2月7日～ 令和4年5月21日	新型コロナウイルスワクチン接種 3回目 ※接種希望者のみ	56名

⑤ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
4月	夜桜見物	12月	年忘れ会
8月	夏祭り	12月	もちつき大会
10月	運動会	12月	居酒屋

研修（実習）受入状況

前年度と同様に、京都八幡高校介護福祉科から介護福祉士実習としての受入れ依頼がありましたが、新型コロナウイルス感染症の流行時期と重なっていたことから、入居者への感染防止のため見送りました。

（介護予防）短期入所生活介護事業所[ショートステイ]

ショートステイでは前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、ご家族の介護負担軽減を図るため感染予防対策を徹底してサービス提供の維持に努めました。

ショートステイは感染のリスクが高い在宅で生活される方が利用されるため、送迎時に検温を行い家族から健康状態を聞き取りするなど感染予防を徹底しました。

入所後も健康状態を観察して、発熱や咳等の症状が見られた場合は速やかに隔離対応し、ご家族に病院受診を依頼しました。症状によっては抗原検査を行い、陰性であることを確認した上でご利用いただきました。一時期は感染のリスクから利用を控える方もいらっしゃいましたが、現在、利用率は改善の傾向にあります。

ご利用いただく際は、ご自宅での生活に近い形でのサービス提供に努めると共に、創作活動や身体を動かすレクリエーションなどを楽しみながらご利用いただけるよう取り組みました。特に日々の出来事や行事について記事にする新聞は、利用者も積極的にご参加くださり、職員と共同して制作しました。

また、社会福祉法人は地域のセーフティネットとしての役割を担っており、八幡市から緊急性が高い依頼があれば積極的に対応し、在宅生活の継続が困難なケースについては、安心して生活が送れるよう、施設にご入居いただきました。

ショートステイ年間利用実績（短期入所・介護予防短期入所）定員 14 名

年 度	年 間	月平均	一日平均	稼働率
令和2年度	2, 6 4 4 人	2 2 0. 3 人	7. 2 人	5 1. 7 %
令和3年度	2, 0 6 6 人	1 7 2. 1 人	5. 7 人	4 0. 4 %

在宅サービスセンター

（介護予防）通所介護事業所

利用者個々の状況に応じて生活リハビリを中心に運動機能の維持・向上に取り組みました。日頃より利用者の足の状態を観察し、看護師と連携を取りながら爪のケアや疾患等の改善に努め、必要な方には職員によるフットマッサージやエアマッサージ器（メドマー）を使用し、浮腫や血行の改善にも取り組ましました。また、利用者がゲーム感覚で楽しみながらリハビリができるよう歩こう会（歩行訓練）を実施したところ、たくさんの利用者をご参加くださいました。また、ご利用者の意思でその日の過ごし方を選択できるよう、一日を通して集団や個別形式のレクリエーションを実施する事に取り組んだ他、年間を通して夏祭り・クリスマス会・運動会等のイベントを新型コロナウイルス感染予防対策を行いながら実施することができました。

利用者やご家族に安心してデイサービスをご利用いただけるよう、連絡ノートを使って利用中のご様子をわかりやすくお知らせすることを心掛けた他、ご家族からの相談・要望・苦情等には役職員及び相談員が主となり、迅速かつ丁寧に対応しました。また、日頃から看護師をはじめとする職員が利用者の体調等をしっかり把握し、体調不良や特変時には速やかにご家族、主治医、関係機関へ連絡し、適切な対応を行うことで大きな事故やケガもなく事業を

運営することができました。

その他、マスク着用・手指洗浄・アルコール消毒・換気等を徹底し加湿器及びアクリル板を設置するなど新型コロナウイルス感染症の予防に努めました。

また、認知症ケアに力を入れるべく、3名の職員が京都府が主催する認知症介護実践者研修に参加し、資格を取得致しました。

デイサービス年間利用実績(第1号通所介護含む) 定員 25名

年 度	要介護 1~5	要支援 1, 2	一日平均
令和2年度	5, 516人	346人	18.9人
令和3年度	5, 063人	486人	18.3人

行 事 名	実 施 期 間	参加延べ人数
夏祭り	令和3年8月4日~8月6日	49名
運動会	令和3年10月13日~10月15日	62名
クリスマス会	令和3年12月22日~12月24日	57名

通所型サービスB事業（ぽかぽか庵）

地域の要支援者及び事業対象者の閉じこもり予防や社会参加を目的に開催しているぽかぽか庵は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、また地域住民等にご協力いただきながらサービスを実施してきました。感染者が増加し、京都府にまん延防止等重点措置が適用された2月から3月にかけては感染予防の観点から事業を休止せざるを得ませんでした。3月22日より再開することができました。

ぽかぽか庵(総合事業)年間利用実績

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
令和2年度	75回	449人	6.0人
令和3年度	88回	480人	5.4人

居宅介護支援事業所

当館の通所介護事業所及び他事業所職員との日常的なコミュニケーションの中で良好な関係を築くことに努めました。また事業所内での定期的なミーティングの中で利用者に関する情報共有や事業運営についての協議を行うことにより、円滑な事業運営を推し進めました。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で各種団体の開催する専門研修会等に参加する機会は減少しましたが、Zoom等での研修に参加するなど情報収集と自己研鑽に努めました。

地域包括支援センター及び市内居宅サービス事業所、各関係機関との連携を強化し、情報交換や情報提供を行うことで利用者の生活及びサービスの質の向上に努めました。

在宅介護支援センター

(八幡市受託業務内容)

- ・地域の相談窓口として、相談があった場合は要介護高齢者等の心身の状況又はそのご家族の状況等を把握した上で介護ニーズ等の評価を行った他、必要に応じて行政機関や地域包括支援センターへ情報提供し、連携を図りました。
- ・各種保健福祉サービスの種類、利用方法、手続き等に関する情報の提供と、サービスの申請代行(要介護認定、住宅改修、福祉用具の購入等)を行いました。

た。

- ・月曜日～土曜日の昼食の配食サービスに加え、当館独自の配食サービス（夕食）を実施しました。
- ・閉じこもり予防事業（はつらつ健康教室）については本来5月から開始予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、7月7日より開始し、計12回実施できました（8月は猛暑のため、2、3月は新型コロナウイルス感染予防の観点から中止）。またレクリエーション等の充実を図るため、通所介護事業所職員と連携を取りながら事業を運営しました。

①相談業務実施状況

年 度	年 間	月平均
令和2年度	32件	2.7件
令和3年度	45件	3.75件

②訪問調査等実施状況

年 度	訪問調査件数	福祉用具購入 支援数	住宅改修 支援数
令和2年度	19件	2件	5件
令和3年度	27件	1件	5件

③配食サービス八幡市委託分（昼食）

年 度	人数	延べ食数
令和2年度	166人	1,936食
令和3年度	196人	2,144食

④配食サービス八勝館独自サービス（昼食・夕食）

年 度	人 数	延べ食数
令和2年度	84人	1,475食
令和3年度	81人	1,299食

⑤介護予防事業開催状況（はつらつ健康教室）

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
令和2年度	19回	145人	7.6人
令和3年度	12回	94人	7.8人

調理室

イベントや夏祭り・年忘れ会等の行事開催時に手作りおやつを、また忘年会や季節ごとに松花堂弁当を提供したところ、入居者・利用者のみなさんはたいへん喜んでくださいました。また、職員間でミーティングを繰り返し行い、職員の負担を少しでも軽減し、効率よく業務ができるよう改善に努めた他、調理時の課題や改善点などの情報を共有する事で、職員によって味付け等に差が出ないように努めました。

理事・監事・評議員等名簿

(令和4年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日
理事長	遠州 伸高	令和3年6月24日
業務執行理事	河本 直樹	〃
〃	中川 晶勝	〃
理事	佐々木 貴昭	〃
〃	佐野 良夫	〃
〃	藤井 さよ子	〃

役職名	氏名	就任年月日
監事	大高 俊生	令和3年6月24日
〃	山本 政名	〃

役職名	氏名	就任年月日 ※任期4年
評議員	岩田 晃一	令和3年6月24日
〃	北村 和夫	〃
〃	梶原 寛之	〃
〃	波田 容子	〃
〃	牧野 誠司	〃
〃	松田 千登勢	〃
〃	遊佐 勝彦	〃

